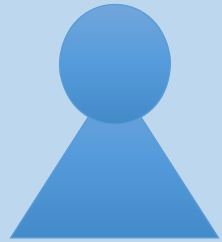


産業界リーダー

入学者



工学部修士課程修了者で基本的な工学装置開発技術のバックグラウンドを持ち、本専攻で医学研究の知識を学びジョイントディグリーを授与される事で国際的に活躍する身体補助装置の研究者を目指す学生

名古屋大学・アデレード大学国際連携総合医学専攻

【修了要件】

在籍中に、共通科目(2単位)、専門科目[名古屋大学におけるA群(セミナー10単位、実験研究6単位)、アデレード大学におけるB群(セミナー10単位、実験研究2単位)]の合計30単位を修得し、学位論文の審査に合格し、学術雑誌に受理されていることを要件とする。

【履修する研究テーマ】

名古屋大学とアデレード大学で、臨床医学領域から整形外科学専門分野を選択し、アデレード大学の指導教員を主たる指導教員として名古屋大学側の整形外科学専門分野の教員を副指導教員とする。

身体機能低下を補助し高齢化社会に備えるための創意・開発を課題とする。

- ・加齢に伴う運動機能補助装置
- ・加齢に伴う感覚機能補助装置
- ・介護支援者のための介護支援補助装置

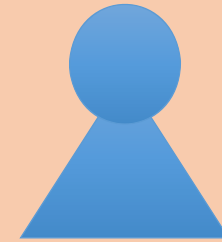
【指導教員】

・主指導教員:1年次に、オーストラリアの高齢化社会の現状と老化に伴う運動器、感覚器の低下について学習し、運動器、感覚器の基本的な医学知識を理解するように指導、助言する。工学知識と医学知識の融合した4年間の研究テーマを共に考える。

・副指導教員:2年次以降に12ヶ月以上を過ごす連携大学側の指導教員であり、オーストラリアよりも急速に進んだ日本の高齢化社会の現状や、整形リハビリテーション領域でのNeedsと合致した物作り中部地区のプロダクト制作状況の現状把握について助言する。ノースキャロライナ州立大学との医工連携テレビ講義等を通じて世界の著名な研究者に触れる機会を与え、主指導教員と連携して研究指導する。

・主指導教員:4年次に論文の作成を指導し、名古屋大学とアデレード大学での研究内容をまとめて、論文作成を指導する。

修了者



日本で高齢化社会に対する各種先駆的な取り組みに触れ、医学的見地から必要とされる技術について理解し、世界で当該領域の指導的立場となる。日本の研究者や当該産業との深い結びつきがあり、国際的な研究開発を推し進めていく基盤を持った臨床医工学リーダー